

# 平成30年度決算報告

平成30年度の決算が12月定例議会にて認定されました。今回はその概要を一般会計を中心にお知らせします。

## ○一般会計歳入

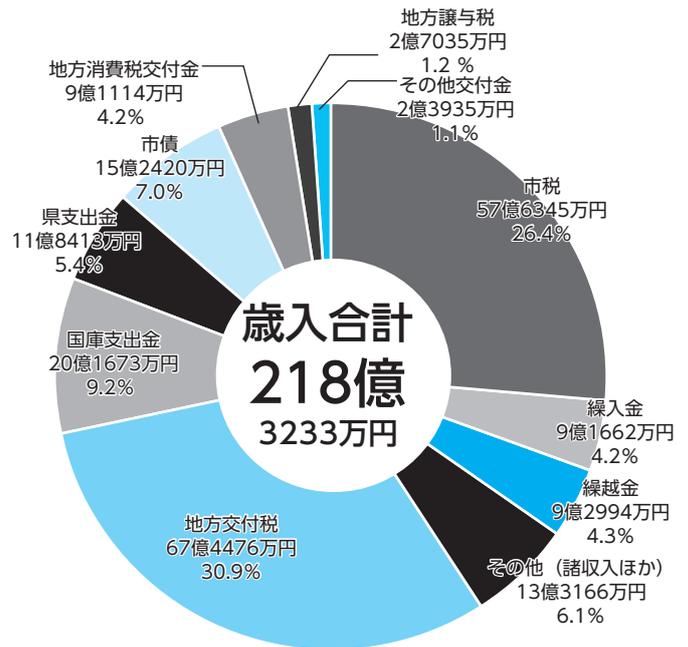
歳入合計は218億3233万円  
前年度に比べ35億8163万円減少

運沼交流センター整備工事の終了による市債の減少や成東総合運動公園陸上競技場改修工事の終了による国庫支出金の減少などにより前年度と比べ全体で35億8163万円減少となりました。

なお、市税は法人市民税の増額などにより前年度と比べ1億49万円増加となりました。

※市税の内訳(カッコ内対前年度比率)

- ・市民税(個人) 22億3268万円 (+ 0.5%)
- ・市民税(法人) 4億3890万円 (+26.0%)
- ・固定資産税 26億1176万円 (- 0.2%)
- ・軽自動車税 1億6900万円 (+ 3.9%)
- ・市たばこ税 3億528万円 (- 1.1%)
- ・鉱産税 583万円 (+ 5.7%)



## ○一般会計歳出

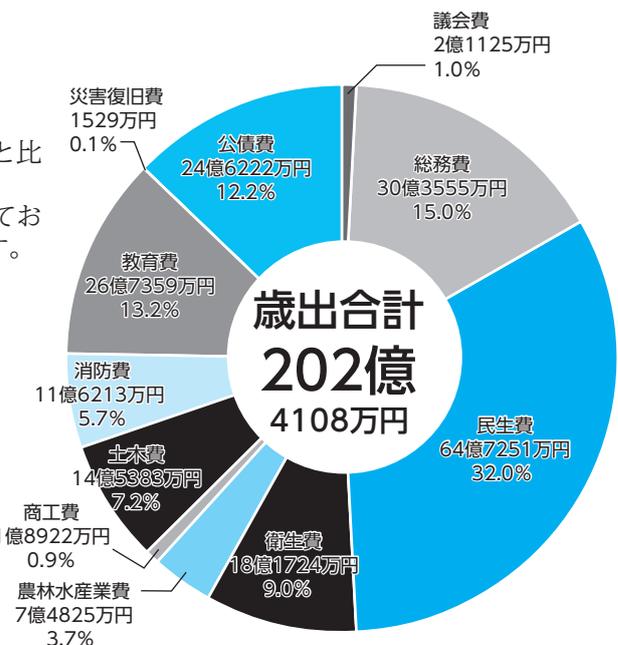
歳出合計は202億4108万円  
前年度に比べ39億1294万円減少

運沼交流センター整備工事の終了などにより前年度と比べ全体で39億1294万円減少となりました。

歳出を費目別で見ると、民生費が全体の32.0%を占めており、続いて総務費15.0%、教育費13.2%の順となっています。

※費目別の主な内容(決算額が大きい事業)

- 【総務費】  
○本庁舎管理運営事業 9156万円
- 【民生費】  
○障害者自立支援事業 9億9836万円
- 【衛生費】  
○地方独立行政法人さむ医療センター運営事業 3億3683万円
- 【土木費】  
○道路維持補修事業 2億4740万円
- 【教育費】  
○成東学校給食センター施設管理運営事業 2億4998万円



性質別歳出(カッコ内対前年度比率)

○人件費	36億654万円 (-0.7%)	○積立金	3億6176万円 (-86.0%)
○扶助費	31億9821万円 (-3.0%)	○投資及び出資金・貸付金	4635万円 (-16.2%)
○公債費	24億6222万円 (-0.7%)	○繰入金	21億963万円 (+2.4%)
○物件費	29億605万円 (+2.4%)	○普通建設事業費	22億8692万円 (-39.6%)
○維持補修費	2億2525万円 (+12.7%)	○災害復旧事業費	1529万円 (+537.9%)
○補助費等	30億2286万円 (-5.9%)	合計	202億4108万円 (-16.2%)

**【用語の解説】**

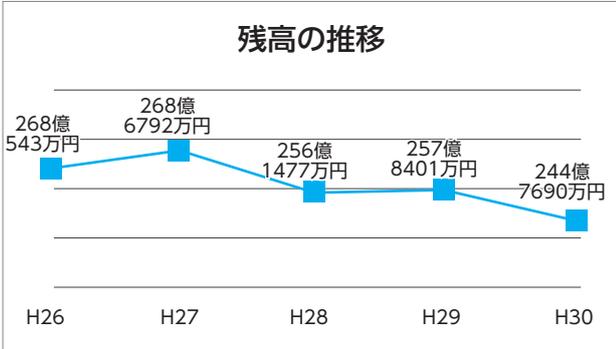
**\*歳入\***  
繰入金：一般会計、特別会計基金の間で移動するお金  
地方交付税：どの地方自治体でも定行政サービスが行えるように国から交付されるお金  
国庫支出金：市が行う事業に対し、必要に応じて国から交付されるお金  
市債：公共施設の整備などの資金として借りるお金  
地方譲与税：国税として徴収された後、市に譲与されるお金(地方揮発油譲与税や自動車重量譲与税など)

**\*歳出\***  
扶助費：高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などへの支援に要するお金  
公債費：市の借入金の返済に係るお金  
物件費：市の事業に必要な消耗品や備品、委託業務などに要するお金  
補助費等：部事務組合への負担金や各種団体への補助金など  
積立金：計画的な財政運営や特定の支出目的のために基金に積立てるお金(市の預金)  
繰入金：特別会計の事務を補助するため、一般会計から特別会計に支出したお金  
普通建設事業費：道路や学校の建設など、社会資本整備に要するお金



## ○市債の状況

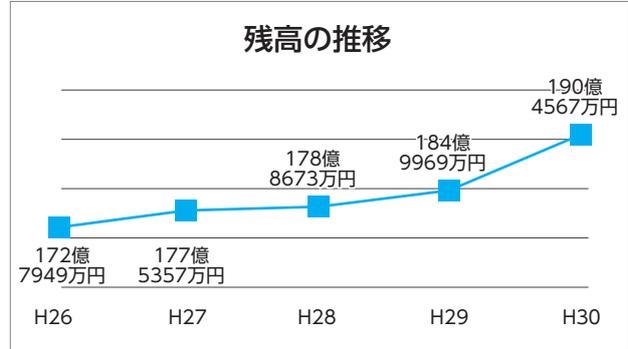
市の市債残高は244億7690万円  
前年度に比べ13億711万円減少



市民1人あたりの借金  
47万4129円 (-1万8064円)

## ○基金の状況

市の基金残高は190億4567万円  
前年度に比べ5億4598万円増加



市民1人あたりの預金  
36万8923円 (+1万5781円)

## ○特別会計・公営企業会計の決算

### 特別会計

国民健康保険特別会計 (事業勘定)	歳入	71億6223万円
	歳出	69億7761万円
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	歳入	1億2830万円
	歳出	1億2227万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	5億3233万円
	歳出	5億3122万円
介護保険特別会計	歳入	47億7196万円
	歳出	47億 892万円
組合立国保成東病院事業	歳入	2億1153万円
清算事務特別会計	歳入	1億6170万円
地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計	歳入	1億2330万円
	歳出	1億2330万円
農業集落排水事業特別会計	歳入	2億7712万円
	歳出	2億6495万円

### 公営企業会計

水道事業会計	収益的収入	4億3499万円
	収益的支出	3億5306万円
	資本的収入	893万円
	資本的支出	2億4322万円

## ○財政健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成30年度決算に係る健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

### 財政健全化判断比率

山武市の財政状況は、全ての指標で国の定める基準を下回り、健全な状態にあります。

区分	山武市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.87	20.00
連結実質赤字比率	—	17.87	30.00
実質公債費比率	9.1	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	—

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、将来負担比率は算定値がマイナスのため「-」で表示しています。

### 資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示します。山武市は全ての公営企業で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

会計名	山武市	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	

※いずれの会計も資金不足が生じていないため「-」で表示しています。

☎ 財政課 ☎0475(80)1121

## 地域振興基金運用益金を活用した事業の報告

市では、市民の連帯の強化や地域振興を進めるために設けられた「山武市地域振興基金」の運用から生ずる収益(運用益金)を財源とした事業展開をしています。平成30年度において運用益金を活用して実施した事業の概要について報告します。

事業名	総事業費(千円)	摘要
地域まちづくり事業	11,119	3団体の活動費
市民提案型交流のまちづくり推進事業	1,014	3件の事業実施費
地域まちづくりグローバル賑わい空間事業	5,000	松尾高校での英語合宿の開催
サマーカーニバル実行委員会補助事業	1,197	サマーカーニバル実行委員会による事業実施費
エコキャンドル実行委員会補助事業	299	エコキャンドル実行委員会による事業実施費
S1グランプリ実行委員会補助事業	995	S1グランプリ実行委員会による事業実施費
松尾公民館ダンス振興事業	236	ダンスイベントにおける講師報償など
山のおんぶ実行委員会補助事業	2,786	山のおんぶ実行委員会による事業実施費
ロードレース大会補助事業	2,659	市内小・中学生の参加費として活用
にぎわい創出事業	2,200	山武市観光協会による観光優待クーポン券の作成
合 計	27,505	総事業費のうち、運用益金から10,589,926円を充当しました。

☎ 企画政策課 ☎0475(80)1132